

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500021		
法人名	社会福祉法人 鶴丸会		
事業所名	グループホーム ユートピア		
所在地	佐賀県伊万里市大川町大川野字赤坂1647番地		
自己評価作成日	令和2年3月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年3月23日	外部評価確定日	令和2年4月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>【グループホーム理念】</p> <ul style="list-style-type: none">*ありのままに 穏やかに*ゆっくと楽しく自由に*残された力で 暮らしの喜びと自由を*地域の方達との交流 <p>【ユートピラスローガン】</p> <ul style="list-style-type: none">*出るか、出ないか、出てみて発見！*やるか、やらぬか、やって改善！*動くか、動かぬか、動いて改革！

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>「グループホーム・ユートピア」は伊万里市の東部に位置し、周りは田園風景が広がる自然豊かな場所に2グループホームが隣り合って建っている。平成16年地域住民からの要望で、医療や認知症ケアの専門知識を持つ母体法人が開設した。地域に望まれて開設している為地域住民の協力が得やすく、消防訓練等積極的に参加があり、事業所の質の向上につながっている。隣接して通所介護、訪問介護、居宅支援事業所があり、在宅介護支援センターは地域住民の相談窓口になっている。日頃の散策や施設行事・消防訓練等写真におさめファイリングしてある為、職員間の異動時も分かりやすく、運営推進会議においても毎回写真で報告している。各家庭にグループホーム便りを配布する等地域とのつながりが出来ている施設である。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に表示し、年度のスローガンと一緒に毎週月曜日に職員で唱和している。職員一人一人が認識し、日々のケアの中で実践している。	1と同様に行っている。	初代理事長、事務長等で作成された法人理念は変更される事なく全ての法人事業所に掲示してある。週1回理念の唱和を行う事で職員の意識付けを行っている。理念とは別にユートピアスローガンを毎年職員へアイデアを募り出した意見の中から施設長、事務長で決定している。職員全員で考える事で一人一人の意識が変わったと感じている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小・中学校や町の行事への参加等可能な範囲で実施している。夜間を想定した避難訓練や秋祭り等の行事に地域の方々にも参加いただいている。その他にも、施設に広報紙を配布している。	1と同様に行っている。	地域には加入していない為地区の清掃や会議等には参加していないが、グループホーム便りを地域家庭に配布している為施設と地域の付き合いは日頃から出来ている。以前は収穫祭と銘打って実施されていた施設の秋祭りは地域との交流を1番に考えられ、地域に開催案内が放送される等地域住民に周知され毎年100人以上の参加があり盛況である。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に区長様や民生委員様等に参加して頂いている。また、夜間を想定した避難訓練を行い、地区住民や消防団の方にも参加いただいた。	1と同様に行っている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2か月に1度開催し、出された意見を元にサービスの向上に努めている。	1と同様に行っている。	運営推進会議は本人、家族代表、行政職員、地域の区長・民生委員・駐在所警察官・消防団等の参加により2ヶ月に1回行われ参加者も多く活発に討議されている。施設から写真による日頃の生活状況の報告は委員にも分かりやすく、地域からの情報等もあり有意義な会議の場となっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーに市の方にも入っていただき、意見を聞いたり相談事にも応じていただいたりして連携を図っている。	1と同様に行っている。	運営推進委員のメンバーに市の担当者が参加している為顔見知りの関係であり、会議の際も積極的に意見を頂いている。併設する居宅支援事業所は在宅介護支援センター業務の委託を受けており地域の相談窓口になっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の必要性がある入居者様がいる際は身体拘束委員会で話し合いをするようにしているが、現在は対象者はおられない状況。委員会の中でも研修を行っている。玄関の施錠についても時間を定めており、それ以外は開錠している。	1と同様に行っている。	外部研修への職員参加はないが、3か月に1回全職員で研修会を行い「利用者が好きな時に好きな事が出来る様に」をモットーに声かけ等にも気を付けながら支援している。運営推進会議の際も毎回身体拘束委員会の内容について報告を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月行っている全体ミーティングや毎日の申し送り時、また、日々の勤務の中で検討を行っている。法人内で虐待防止に関する研修も行っている。	1と同様に行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員一人一人が学ぶ意識を持ち、研修等への参加も検討している。	1と同様に行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申込み時には十分説明し、見学して頂いた上で、契約して頂いている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、意見・要望がある際は入れてもらうようにしている。家族様来所時には、日ごろの様子を伝え、家族様の意向を確認している。	1と同様に行っている。	家族面会時にはなるべく会話を多く持つ様心掛け、家族が何でも言いやすい様気を付けている。入居者には担当職員が決まっており、普段の声かけコミュニケーションの際に本人の思いを汲み取る様日頃から心がけている。意見箱を設置してあるが家族からの意見が入っていた事は無い。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2度管理者、師長で面談を行っている。また、毎月のミーティングでもそれぞれの意見を聞いている。	1と同様に行っている。	月1回理事長挨拶の為各事業所へ施設訪問が行われ、職員は気軽にコミュニケーションを図り気づき等を伝える事が出来る関係である。人事考課も兼ね年に2回管理者、師長との個人面談が行われ、職員からの業務内容や休み時間の取り方等意見があれば検討し実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を年2回行い個人を評価している。資格取得や各研修への参加を促している。	1と同様に行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回、様々な内容の施設内勉強会を開催し、法人内の研修等、また、外部の研修等にも参加している。	1と同様に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入しており、他のホームと交流を持つ事でサービスの質の向上に努めている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の話を傾聴し、安心感を与えられるような声かけを心がけている。	1と同様に行っている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期面接時には、なるべく詳しい本人様の情報を聴取し、家族様の意向をくみ取るように留意している。	1と同様に行っている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、家族様の意向を重視し、サービスの検討を行っている。	1と同様に行っている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の対応の中で、これまでされてきた日常生活上の仕事や作業等を、入居者様達が一緒にできるような対応を努めている。	1と同様に行っている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事を行う時は案内の文書を郵送し、一緒に過ごすなど、家族様にできる支援をお願いしている。また、病院受診も可能なところは家族様に対応してもらっている。	1と同様に行っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同敷地内のデイサービスの行事に参加して、昔馴染みの人と話をしたり、ドライブ等も行い、その際に自宅の近くを通ったりしている。	1と同様に行っている。	馴染みの場所との関係が途切れない様自宅周辺や近所の公園等ドライブに出かけている。チルド食への変更の際は「家族の会」を施設で行い昼食を共にされ家族関係が深まる様支援されている。普段の交流はなかなか難しい為地域交流の一環で秋祭りを開催している。放送により案内され、多数の地域住民と交流する機会を設けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、調子がいいときはそれぞれ楽しく過ごされているが、調子がよくないときは職員が間に入ったり、一旦離すなどの対応をし、良好なコミュニケーションが取れるように支援している。	1と同様に行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・退居の場合は、病院訪問時に面会に行ったり、連携室から情報を得たりしている。町内で家族様に会った際には様子を伺っている。	1と同様に行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話の中で、本人様の思いや、今やりたい事等を聞いて、できる範囲で実践している。訴えのない入居者様の場合は、家族様に本人様の好きだった事、得意だった事等を聞き取り、できる範囲でホームでの生活に取り入れ実践するよう努めている。	1と同様に行っている。	担当職員が決めてあり、日頃の言動や表情から利用者の思いを汲み取る様心がけている。節分の際恵方巻が食べたいと希望され施設で作ったり、ぜんざいが食べたい等の訴えに急遽職員・利用者みんなで作る等一人一人の何気ない会話の中から本人の希望に沿って支援している。訴える事が出来ない利用者には家族に聞いて支援していくつもりである。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様には入居時に十分聞き取りを行い、意思疎通ができる入居者様には入居時は勿論、入居後も日常の会話の中で聞き取りを行っている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様のできる部分を意識し、一人一人の状態に合わせた対応を心がけている。	1と同様に行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様、家族様の意向や、毎朝の申し送り、会議等の際に確認した、本人様の状態を把握し、本人様にとって必要なケアを考えて計画を作成している。	1と同様に行っている。	介護支援専門員は担当職員より現在の状況等の確認を行い家族の意向聞き取り等にて利用者が必要と思われるケアプランを作成している。担当者会議は家族面会時、本人参加で行われ了承の上署名、捺印を頂いている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を共有し、職員間で情報共有を行いながら実践している。	1と同様に行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所内や法人内の施設と連携を図り、柔軟な支援ができるように取り組んでいる。	1と同様に行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内行事の見学へ出向いたり、避難訓練に地域の方に参加してもらったりして地域の方達との交流の機会としている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診は家族様での対応や訪問診療等含め計画的に行っている。突発的な受診は職員が対応し、報告事項等は家族様へ看護師が中心となり行っている。	1と同様に行っている。	法人医療機関が主治医を担当する機会が多いが、以前からのかかりつけ医や近隣医療機関より送迎にて受診の利用者、訪問診療利用等適切な医療が受けられる様支援されている。体調不良時・熱発時・便秘等の際はグループホーム師長が判断し指示を行っている。突発的に受診が必要な場合は主に師長が受診付き添いを行い、家族へ結果報告を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を常勤で配置し、入居者様一人一人の状態の把握に努め、適切な対応ができています。介護職員は看護師に気づきや心配な事を報告・相談している。	1と同様に行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院に情報提供を行い、入院中の状態、退院時の情報も病院の連携室を通じて連携を取っている。	1と同様に行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方については、家族様の意向を十分尊重し、話を行っている。本人様、家族様が納得して最期が迎えられるように準備している。	1と同様に行っている。	終末期の支援について入居契約時家族と話し合いを行っているがグループホームでの看取りを希望される家族はいない。法人母体が医療機関の為医療度が高くなる場合は最終的には医療機関や特別養護老人ホームを希望される家族が多く現在まで看取りをした事は無い。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてマニュアルを作成しており、職員がいつでも閲覧できるようにしている。また、法人内で緊急時の対応の研修も行っている。	1と同様に行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な事業所での訓練の実施と、地域住民や消防団員にも参加していただき夜間を想定した避難訓練を実施している。	1と同様に行っている。	地域住民、駐在所警察官、消防署、地域消防団等の協力を得て実際に夜間消防訓練を実施している。訓練の様子は写真に収め記録に残されている為分かりやすく、今後の訓練の際も容易に振り返る事が出来る。夜間訓練の際は全員に訓練時間内容を周知していた為実際招集にかかった時間は測られていない。緊急時連絡網が作成してある為連絡訓練のみの実施でも伝達にかかった時間等把握する事が出来、意義があると思われる。水・食料品も備蓄しており職員は消火器・AEDの使用方法等も訓練している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の扱いについては入居時に本人様、家族様の承諾を得て公表している。利用者様には敬意を持って接し、さりげなくトイレ誘導して他者にわからないようにする等の配慮を職員一人一人が行っている。	1と同様に行っている。	地区に便りを配布している為写真使用等個人情報の取り扱いについて入居契約時説明し承諾を得ている。利用者の誇りやプライバシーを考え入浴時や排泄時等には特に気を付けている。玄関から利用者居室の中が見えない様つい立てを置いてプライバシーの保護に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は、日常の会話の中で入居者様の思いを引き出すような問い掛け、声かけを意識している。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースや思いを大切に して生活できるように努めている。	1と同様に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節や気温に応じた衣類を本人様に 選んでもらったり、清潔感にも気 をつけたものを職員が選んだりして いる。	1と同様に行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は今年度よりチルド食での対応 を開始しており、形態は入居者様一 人ひとりに合わせた形で提供して いる。気分等にも配慮しながら一緒に 準備・後片付け等する機会も作って いる。	1と同様に行っている。	昨年より3食チルド食へ変更になり、 食事内容は業者の管理栄養士がメ ニューを作成している。栄養価、糖 分、塩分等管理され、グループホ ムで盛り付け、食事形態への対応 を行っている。主食は施設で準備する 為ちらし寿司、恵方巻等行事食の準 備をする事がある。おやつにぜんざ いや誕生ケーキを作る等楽しみが 持てる様工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様一人ひとりの食事摂取量 や水分摂取量を確認しながら、状態 に応じて対応している。薄味等の対 応もできる範囲で行っている。チルド 食は栄養士が立てた献立になって いるので栄養バランスについては問 題ない。	1と同様に行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	日々の口腔ケアを毎食後しっかりと 行い、必要時には歯科医の診察も 行っている。する際には本人様がで きる範囲は自身でしていただき、出 来ない部分は職員が行っている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて入居者様一人ひとりの排泄のペースやパターンを確認し、昼夜共に排泄誘導、声かけを行っている。	1と同様に行っている。	排泄チェック表で排泄間隔の把握を行い基本的に昼夜トイレ介助を行う事でパット使用料の軽減に努めている。夜間の足元センサー設置やポータブルトイレ使用にて安全な排泄介助を支援している。パット購入は担当職員が月2回注文している。常時紙おむつ使用者2名他全員紙パンツ使用中、パット利用料金最高は15,000円程度。入院時使用できる様法人母体病院と同一パット購入も検討して行く。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や腹部マッサージ、適度な運動、豆乳の提供等便秘予防に配慮している。看護師へ報告・相談も行っている。	1と同様に行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	全員が定期的に入浴ができるように曜日で入浴者を決め、入居者様の状態に応じた入浴の支援を行っている。職員の状況やその時の必要性等にもよるが、希望があった際には対応することもある。	1と同様に行っている。	毎日浴室準備を行っている為気分不良等がある場合は本人の希望により入浴を行う等臨機応変に対応している。入浴予定表は作成してあるが声かけ時の反応を見ながら1日3人程度週2回ゆっくり入って頂いている。機械浴は設置していない為浴槽に浸かる事が出来ない利用者にはシャワー浴、足浴にて清潔保持に努め皮膚の状態観察を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様がゆっくり良眠できるように、居室の温度調節や採光等にも注意している。	1と同様に行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現在服用している薬情を確認し、職員全体で共有し、入居者様一人ひとりの状態把握を心がけている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみや新聞折り等入居者様に役割を持ってもらっている。	1と同様に行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の希望に応じ、外出をなるべく行うように意識している。時には家族様にも協力いただき外出することもある。	1と同様に行っている。	天気の良い日はグループホーム1号棟と2号棟の間にあるウッドデッキで合同お茶会を行ったり、当日のリーダー発案で急遽ドライブに行く事もある。荘外に出る機会を設け日光を浴び気分転換を図る様支援されている	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的な管理・支払いとも職員が行っている。しかし、買い物等行った際にお金を渡して出してもらったり、常に自身でお金を持っていないと落ち着かれない方もおられ、家族様に了承いただき持たせる等の対応もある。	1と同様に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様が希望された時にはしっかりと対応できるようにしている。	1と同様に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の環境には常に気をつけ、季節を感じるような飾りも意識している。家具等も入居者様に危険がないような配置を心掛けている。	1と同様に行っている。	ホールは明るく職員・入居者で作られた桜の掲示物が季節を感じられる。加湿器の使用や濡れタオルを干す等加湿に努め、朝夕窓を開けての換気や手すり・ドアノブ等は消毒液で拭く等感染対策を行っている。ホールは清潔で心地よく入居者は思い思いの場所で寛いで過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士で楽しそうに過ごされることは問題ないが、一人になれる場所の確保は共用空間内では難しいので、一人になりたい時には居室を利用している。	1と同様に行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとタンスは備え付けがある。入居時に馴染みの物等ある場合は持ち込み可と説明している。担当職員を決めて居室内の飾り等を行っている。	1と同様に行っている。	各居室入口に花の絵に名前が書いてあり自室と確認できる様支援されている。担当職員が家族写真等の飾りつけを行い、時には一緒に居室清掃を行う等、居心地のいい空間作りを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物の構造を活かし、排泄が自立されている方の居室はトイレの近くにする等できることを活かすよう努めている。	1と同様に行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない